



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アーネストワン

コード番号 8895 URL <http://www.arnest1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西河洋一

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 岡田慶太

TEL 042-461-6288

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	43,459	27.7	4,402	2.3	4,477	3.3	2,840	12.0
24年3月期第1四半期	34,032	16.1	4,305	9.8	4,335	9.9	2,535	9.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	43.24	—
24年3月期第1四半期	38.60	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	86,632	61,198	70.6
24年3月期	89,885	60,657	67.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 61,198百万円 24年3月期 60,657百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	35.00	40.00
25年3月期	—				
25年3月期（予想）		5.00	—	35.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	92,900	9.6	9,300	△6.8	9,250	△7.7	5,700	△3.1	86.77
通期	215,800	15.2	22,200	1.7	22,100	0.8	13,700	6.3	208.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	65,688,000株	24年3月期	65,688,000株
25年3月期1Q	679株	24年3月期	679株
25年3月期1Q	65,687,321株	24年3月期1Q	65,687,321株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復基調がみられたものの、長引く円高やデフレの影響に加え、雇用情勢の悪化懸念等が依然として残り、先行き不透明な状況が続いております。

当不動産業界におきましては、被災地における着工増加の下支えもあり、新設住宅着工戸数に持ち直しの動きがみられましたが、低価格物件を中心に他社との競争は依然として厳しい状況にあります。

このような情勢のなか、当社は、ひとりでも多くの人々に住宅を持ってもらいたいという信念のもと、徹底した原価管理と品質の向上に努め、良質な戸建分譲住宅及び分譲マンションを低価格で供給してまいりました。また、営業面におきましては、平成24年6月に成増営業所を新設いたしました。

業績につきましては、戸建分譲事業及びマンション分譲事業において引渡数が増加したこと等により、売上高及び利益が前年同期を上回りました。なお、引渡数は戸建分譲事業が1,813棟（建売分譲1,737棟、土地売分譲76区画）、マンション分譲事業が158戸となっております。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は434億59百万円（前年同期比27.7%増）となりました。営業利益は44億2百万円（同2.3%増）、経常利益は44億77百万円（同3.3%増）、四半期純利益は28億40百万円（同12.0%増）となりました。

なお、当社の売上高は、主力事業である戸建分譲及びマンション分譲において、第4四半期会計期間に集中し、著しく増加する傾向にあります。このため、各四半期会計期間の業績に季節的変動があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①戸建分譲事業

建売分譲におきましては、販売単価は低下したものの販売棟数が増加したこと等により、売上高は378億17百万円（前年同期比27.9%増）となりました。また、土地売分譲の売上高は12億47百万円（同4.3%増）、請負工事の売上高は3億19百万円（同243.6%増）となりました。結果として、戸建分譲事業全体の売上高は393億85百万円（同27.6%増）、税引前四半期純利益は38億63百万円（同3.0%増）となりました。

#### ②マンション分譲事業

マンション分譲事業におきましては、販売単価は低下したものの販売戸数が増加したこと等により、売上高は40億74百万円（前年同期比28.4%増）、税引前四半期純利益は5億67百万円（同4.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は866億32百万円（前年度末比3.6%減）、負債は254億33百万円（同13.0%減）となっております。総資産減少の主な要因は、法人税等の支出による現預金の減少によるものであります。負債減少の主な要因は、法人税等の支払に伴う未払法人税等の減少及び事業資金の返済に伴う有利子負債の減少によるものであります。また、純資産増加の主な要因は、四半期純利益の獲得によるものであります。

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前年度末に比べ35億16百万円減少し、304億99百万円となりました。

当第1四半期会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は5億87百万円（前年同期比94.7%減）となりました。これは主に、税引前四半期純利益を46億1百万円獲得したものの、法人税等の支出が44億81百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は3億11百万円（前年同期は投資活動の結果使用した資金1億2百万円）となりました。これは主に、投資有価証券の清算分配による収入が3億23百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は32億39百万円（前年同期は財務活動の結果得られた資金37億62百万円）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額が10億26百万円及び配当金の支出が22億13百万円であったことによるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、現時点では、平成24年5月14日公表の業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ①税金費用の計算

四半期会計期間に係る法人税等については、四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（累計期間）に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### ①減価償却方法の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,015	30,499
販売用不動産	11,590	12,258
仕掛販売用不動産	32,982	31,208
未成工事支出金	3,383	4,463
貯蔵品	19	23
前渡金	1,635	1,790
その他	1,618	1,945
流動資産合計	85,245	82,188
固定資産		
有形固定資産	3,222	3,215
無形固定資産	49	47
投資その他の資産	1,367	1,180
固定資産合計	4,639	4,443
資産合計	89,885	86,632
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	5,490	5,646
工事未払金	9,997	9,755
短期借入金	5,964	4,938
未払法人税等	4,517	1,758
前受金	752	869
賞与引当金	480	660
役員賞与引当金	63	74
その他	1,443	1,204
流動負債合計	28,708	24,907
固定負債		
退職給付引当金	484	491
資産除去債務	4	4
その他	30	30
固定負債合計	519	526
負債合計	29,227	25,433

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,269	4,269
資本剰余金	3,167	3,167
利益剰余金	53,221	53,762
自己株式	△0	△0
株主資本合計	60,657	61,198
純資産合計	60,657	61,198
負債純資産合計	89,885	86,632

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	34,032	43,459
売上原価	27,225	35,991
売上総利益	6,807	7,468
販売費及び一般管理費	2,501	3,065
営業利益	4,305	4,402
営業外収益		
受取賃貸料	30	36
その他	39	63
営業外収益合計	70	100
営業外費用		
支払利息	37	20
その他	2	4
営業外費用合計	40	25
経常利益	4,335	4,477
特別利益		
投資有価証券清算分配益	—	123
特別利益合計	—	123
特別損失		
固定資産除却損	4	—
災害による損失	11	—
特別損失合計	16	—
税引前四半期純利益	4,318	4,601
法人税等	1,783	1,761
四半期純利益	2,535	2,840

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	4,318	4,601
減価償却費	24	24
引当金の増減額 (△は減少)	147	197
受取利息及び受取配当金	△7	△13
支払利息	37	20
固定資産除売却損益 (△は益)	4	—
投資有価証券清算分配損益 (△は益)	—	△123
売上債権の増減額 (△は増加)	54	42
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,682	29
前渡金の増減額 (△は増加)	△801	△154
差入保証金の増減額 (△は増加)	△6	△4
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△180	△387
仕入債務の増減額 (△は減少)	△560	△86
前受金の増減額 (△は減少)	269	117
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△298	△278
未払又は未収消費税等の増減額	△38	△44
その他	△51	△49
小計	△5,770	3,892
利息及び配当金の受取額	7	12
利息の支払額	△58	△11
法人税等の支払額	△5,278	△4,481
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,100	△587
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△71	△20
投資有価証券の清算分配による収入	—	323
その他	△30	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102	311
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,988	△1,026
配当金の支払額	△2,225	△2,213
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,762	△3,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,440	△3,516
現金及び現金同等物の期首残高	23,740	34,015
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,299	30,499

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。